第56号

発行所 安曇野市教育会 福 発行人 Щ 編 集 会 報 委 員 会

会 報

> 平成 29 年 9 月 15 日 発行日 題 字 Ш 田

殖

馬太先生の墓参、 が行われました。

雨に入る前、

六月十七日(土)

らです。この一

節に初めて触れた

を伝えるか~」と の精神は現代に何 先生に、 「貞享騒動に学ぶ~義民

題してご講演いた

だきました。

は、私自身にとっ 今年の読み合わ が行われました。 記」の読み合わせ 好会の資料提供で 衞委員会、哲学同 わせでは、 に学ぶ」の読み合 る「木村素衞先生 「木村素衞思索日 例年行われてい 木村素

員

栄

「秋雨よ静かに

任 委

ては大きな節目に

れで一切はいい を発したとき そして消えた時そ あろう。 感じられました。 大きな交響曲の一音が私の一生で とっては自己の死は何でもない。 ·続け」の前後に、 節「真実に実在を 愛する人に それは、木村素衞先生の有名な 発すべき時に発すべき音 秋雨よ静かに降 触れられたか

鑿

先輩の貞享義民記念館長清水祥二 岡村千馬太先生碑への献花・献酒、 会館横の務台理作碑・木村素衞碑 に拝礼を行いました。学習会では、 「安曇野の先人等に学ぶ会」 松本市城山在の 本年度も岡村千 印されていました。「碑を掃除し 抜粋は、前出の一節のみが刻まれ、 昭和十一年十月二十六日の日記の 茶臼山に上る道の傍らにある「木 同期の同僚と松本市浅間温泉から 村素衞詩碑」の掃除の時でした。 のは、附属松本中勤務の一年目に、 「二十三回忌にこれを建てる」と

ながら教育愛につい でした。 そうで見えない存在 ち)には、その美しい 送り出された私(た い」と当時の先輩に かに触れてきなさ て感じ、その何たる 文章の裏側は、見え

姿が見えてくるよう が育ち、自分の真実の からは思索の芽ぐみ 見出し、雨しみいる土 脚の中に、落ち着きを 「久しぶりの雨の雨

た心を通わせつつ、生と死を繰り返 を繰り返してきた。 自己の死を引き継ぎ、建設と協働の 自然の中に沢山生きる人間は、 より唯々もの静かな美しさだ。 見えてきた。それは、悲しさという してきた。そのリズムと消長の中で 多様に色づき、 (のみ) を他の人が引継ぎ、 だ。夏を経て木や草も 自然の衰えと荒廃が (要約)」 その 違っ

にありました。 が少し見えたという「幸せ」がそこ は述べていました。懸案だったこと

### 安曇野 等に学ぶ会

が六月十七日(土)に開かれた。 的に、「安曇野の先人等に学ぶ会 午前に、役員が三郷中萱にある岡 る諸先輩の生き方に学ぶことを目 偲ぶと共に、 代会長の岡村千馬太先生の遺徳を 岡村先生の碑の前で碑前祭を行っ 午後には、 村千馬太先生のお墓をお参りし、 安曇野市教育会の先輩であり初 松本市城山公園にある 安曇野にゆかりのあ



と前出の一節の前に、木村素衞先生 た。本教育会の先輩の方々と役員

好先生も参列してくださった。 が参加し、松本市教育会長小嶋 議室で学習会を行った。 の碑に拝礼をした。その後、 庭の木村素衞先生と務台理作先生 会場を南安曇教育文化会館に移 約五十名が参加して、会館南

峻烈を極めた刑が処されたも こと、そして知って正しいと思っ てよりよく生きるには、 な農民一揆である。 加助が中心となって起きた大規模 民が団結し、中萱村の元庄屋多田 領の二郡・十五組・三三八村の農 氏の圧政に対して貞享三年、 より示唆された。 あることを騒動や加助らの生き方 たことは行っていくことが大切で 崇められることになる。 人間とし ただいた。貞享騒動は、 伝えるか~」と題してご講演をい に学ぶ~義民の精神は現代に何を 長の清水祥二先生から「貞享騒 学習会前半は、貞享義民記念館 加助らの主張は大きく達成さ 後に加助らは「義民」として 指導者らには まず知る 領主水野 松本

志に触れて自己を見つめる機会と を行っていただいた。 だき、木村素衞先生の日記の朗読 と哲学同好会幹事長にご協力いた 安曇野の先人の生きざまや高 意義深い一日だった。 木村素衞委員会委員長

### 事業 推 進 連 絡 会

協議が行われた。 た。丸山福一会長(穂高南小学校) 第一回事業推進連絡会が開催され の挨拶の後、 七月十日 月) 各学校代議員による 教育文化会館

り始まった教育会主催の研修日に 昨年と同率だったことなどの反省 師紹介パンフレットを早めに配る の機会となった、 の中から選択できたため良い研修 う意見の一方で、多くの研修内容 た。時期的・時間的に忙しいとい が出された。後半は、七月五日よ などの工夫により、参会者がほ の講演が大変好評だったこと、 K解説委員室解説主幹の山崎登氏 の関心が高まってきており、NH 総集会を振り返った。防災教育へ ついての意見が代議員より出され 五月に開催された教育会 などの意見も出

年である。現在の美しさを保って 教職員組合執行部の先生方ととも していきたい。 謝の気持ちを忘れず、 まで手を入れた。会館は築二十九 けや窓ふき等、 清掃が行われた。会館の清掃では、 いくことができるよう、 に、参会者全員でフロアの雑巾が 連絡会終了後には、 施設の隅々に至る 大切に使用 避難訓練と 今後も感

# で見て触れて

# 〜安曇野巡検行われる〜

多くの参加者が集まった。 開催となったが、今回も各校から 様子を見学した。今年度から半日 講義及び安曇野各所の土地利用の 地?何ができるの?」をテーマに、 で見て、触れて~安曇野って扇状 曇野巡検が行われた。今年度は「目 七月八日 <u>(</u> 土 、 晴天のもと安

講師は、社会科資料集編集委員

大変中身

先生の

によってりんごや米などの作物が 候であり、日較差が大きい。これ て話された。安曇野市は内陸性気 れから分かった。次に気候につい から東へ傾いている様子が川の流 教えていただいた。安曇野市は西 流れで土地の高低差を見ることを を見ながら、等高線ではなく川の ばかりであった。安曇野市の地図 もたちに学んでほしいと思う内容 話をお聞きした。 まずは扇状地について具体的にお 長の穂高南小学校 私たちが社会科の授業で子ど 先生の講義

슾 報

いた。 が掲載されているそうだ。 会が作成した「私たちの安曇野」 状地の末端) では、わさび田が広 り、中信平総合開発である。また、 である。その集大成が拾ケ堰であ 地に堰を作り、安曇野を潤したの う。 かなりの水が地下へ浸透してしま 合扇状地である。扇状地を形成し 安曇野は、 である扇状地について話された。 く学ぶことができた。 の土地を利用した産業について深 からリンゴ、米、わさび田の写真 の裏表紙には、水田を背景に、 がっている。社会科資料編集委員 になっている。そして扇端部(扇 ったところが、現在ではりんご畑 扇頂部 んでおり、水を通しやすい。扇央 ている堆積物は大小様々な礫を含 講義の最後には、今回のテー (扇状地の中央) では、河川の 安曇野の先人達は、この乏水 (扇状地の頂点) の桑畑だ 扇状地が数多くある複

は梓川となること、そしてそれら 水は高瀬川となり、 聞きした。 安曇野市の模型を元に、お話をお の公園へと向かった。そこでは、 講義が終わり、アルプスあづみ 槍ヶ岳から北に流れる 南に流れる水

地域の人と話し、

目で見て触れて

感じることが大切とおっしゃって

聴きとったことであった。

実際に

ることができたが、そのほとんど 野市の土地の特徴について深く知 おいしく育つ。講義の中では安曇

先生が直接農家の方々から

を車窓から眺めた。花見(けみ) 曇野排水路を見学した後、 曇野は改めて、 ことなど、走行中にも多くの知識 がにじますの養殖に使われている 所ということや、わさび田の排水 と言う土地名は、湧水が集まる場 の公園を後にし、黒沢川末端、 ということが実感できた。 であることを説明いただいた。 が最終的に集まるところが御法 湧水が豊富な土地 あづみ 扇央部 安 安

安曇野 この安曇野巡検は足で稼いだ社会 安曇野の特徴や良さをこれからの じた。そして、この巡検で学んだ 熱心な講義の中には、子どもたち いかなくてはならないと感じた。 安曇野を担う子どもたちに伝えて 赴任した際は参加してほしいと感 る。初任者はもちろん、安曇野に 科の先生方の知識が凝縮されてい た。社会科は足で稼ぐと言うが、 の興味関心を惹くものが多かっ の濃い内容であった。 を得ることができた。 半日の日程だったが、

## 安曇野巡検の感想 豊科北小学校

が広がり、 があると感じ、安曇野巡検に参加 立場として、 ージがあります。 しました。 て、安曇野の地を知っておく必要 任しました。 私 はこの四月から安曇野市に赴 水が美しいというイメ 安曇野市というと田園 また社会科教員とし 子どもたちを教える

たのも人々の願いや苦労があった うことも知りました。堰が作られ 水はただ美しいだけではなく、 を知りました。また、安曇野市 す。こうした自然環境で先人たち ことができる作物も変わってきま 地という地形や川の有無で、 樹園があるなどの土地利用を一つ 科地区は水田が多く三郷地区は果 堰などの川を見て回るなかで、 ということです。 変重要で貴重なものであったとい 曇野の人々が稲作を営む上で、大 生活を営んできたのだということ がその土地に合った作物を作り、 しました。黒沢川、矢原堰、 つ教えていただきました。扇状 巡検では多くの河川や堰を見学 作る 拾ケ 安

りたいと思います。 るということを、 たちの暮らしと深くつながってい 今後子どもたちにも、 自信を持って語 水は自分 先生を講師にお招きし、

# **漢講習会**

# 開かれる

ばれた。 のベ四六八名の先生方が熱心に学 学は三十一日、 に安曇野市内十八会場で開かれ、 実技講習会が七月二十七日 音楽は八月十日)

となった。 なく、交流の場としても良い機会 得意とされる講師をお招きし、講 方が集まり、 講座には校種・教科を越えて先生 を選択し受講できることから、各 習に限らず、興味関心のある講座 る。教員自身の専門教科の実技講 義や体験等を通して学ぶ会であ 実技講習会はその教科・分野を 専門性を磨くだけで

### 国語

会 報

▽講師

先生

(創造学園高等学校

通信制非常勤講

句甲子園に連れて行った経歴を持 ◇松本第一高等学校の俳句部を俳 ·参加者数 十九名

俳句について学びました。 かに、言わずしてその思いを強 講義では「思いや心は言わない。

# 実技講習会

りで大切なことを教わりました。 く伝えるかが大事」など、俳句作

ながら、作品作り 添削していただき と、自由な俳句を 入れた俳句を一句 灯」や「花火」を のお題として「鬼 二句ずつ作りまし 講義後は、季節 先生に

講習会となりました。 などの感想が寄せられ、 方の句を見るのも選ぶのもおもし 分の気に入った俳句を選び、発表 です。作者名を伏せた俳句から自 午後は、句会体験 に没頭しました。 や参加者の先生方に心より感謝申 ろく、このような授業も楽しそう」 し上げます。 し合いました。講習後「他の先生 充実した 先生

(明南小

### ▽講師 社会

(災害時住民支えあい研究会代表)

▼参加者数 二十五名 (社会福祉協議会

市に多くの断層があっ と思っていたところが ろを巡りながら説明し 層の違いが分かるとこ 察について、実際に断 みられる断層地形の観 ◇午前中は、 断層だったり、安曇野 ていただいた。段差だ に松本・安曇野市内で

り、 うことを学んだ。 DIG の作成を行った。 DIG 作成で ての講演をしていただき、後半は 午後は、 安全対策が改めて必要だとい

災害による被害に色をつけたり、 所が多くあることがわかった。 が起こる可能性や、 みると、学校の近くの川から洪水 策や対応を考えた。実際に作って シールを貼ったりして災害後の対 (三郷小

(地域環境研究室)

▽講師 茅野公穗 (信州大学教育学部

(堀金中学校)

をお迎えし、新学習指導要領に向 けた講義・演習を行いました。 内地留学されている 授の茅野公穂先生と、 ◇今年度は、信州大学教育学部教 ▼参加者数 午前は、茅野先生に「数学的に 信州大学へ

たりすることがわか り」についてご講演をいただきま 考える資質・能力を伸ばす授業作 ト stathist の活用」と題して、模擬 践に繋げてきたいです。 いを考えたことを、今後の授業実 した。それぞれの場面で教師の問 午後は、

大きな地図に地域で発生する 先生に防災につい 地震に弱い場

▽講師

をテーマに、磁石の歴史や性質、 ◇「電流のはたらき・磁石の性質 いただきました。

> みなど、興味深いものばかりでし ニアモーターカーが浮いて進んで うでない金属のつくりの違い、リ 磁石になることができる金属とそ すくご指導していただきました。 あります。その専門的な知識につ 大切な時間になりました。 た。磁石の世界の世界観が広がり いくための構造、 いて、実験を用いながら分かりや ては説明しづらい専門的な知 電磁誘導の仕組

(堀金中



先生に「統計ソフ

### 理科

天谷健一 (信州大学教育学部)

電磁誘導による様々な現象につい ▼参加者数 実験を交えながら講義をして 二十三名

様々な実験を小学校中学校ともに 行っていますが、その法則につい 日頃の授業では、 磁石を用いた

音楽

ことを還元していただき、受講者

ました。信州大学で学ばれている 授業形式での演習をしていただき

も熱心に活動していました。

(穂高西中

▽講師

(暁星小学校元教諭)

ました。 法や姿勢や表情を教えていただき をモデルに、響きのある発声の方 て、合唱指導について学びました。 ◇今年度は、 ▼参加者数 午前中は、 二十七名 三郷中学校の合唱部 先生をお迎えし

また、日頃困っていることや、 指揮のやり方を教わったり、新曲 を合唱したりして楽しみました。 午後は、 に発声方法や りました。二種類の粘土、

多数の

プで指導していただいた。

道

の違いや形状の違いだけでなく、 釉薬や着色料があることで、 安

思える一日になりました。 スしていただきました。二学期か ら授業に生かしていけるよね!と 業での悩みなどについてアドバイ (穂高西中

美術

▽講師

·参加者数 二十一名 (穂高陶芸会館)

して、 中で作陶することが出来ました。 ◇本年度も穂高陶芸会館を会場に も多く、和気藹々とした雰囲気の だきました。リピーターの参加者 ない先生方にも多く参加していた た。参加者の多くが同好会員以外 で、普段陶芸の制作に関わってい 「陶芸日和」を開催しまし

ら色違いの粘土を追加して縞模様 のがあったりするときは、 陶に入っていきました。制作に行 ポイントを聞いて、それぞれの作 ターを連作しているグループもあ 先生もいました。数名でキャラク の作品を作る先生もいれば、様々 き詰まったり具体的に作りたいも 範していただき、制作する上での にカップの作り方を手びねりで師 な形や着色で装飾を工夫している イスしてくださいました。最初か 未経験者もいたので、 アドバ 先生

슾 報

> 性豊かな作品群を作陶していまし どの色で仕上げるのかを模索し て、時間一杯に制作を楽しみ、 個

しんでいただきたいと思います。 品が仕上がったら実際に使って楽 は味わえない良さがあるので、作 しまいます。しかし、工業作品で うまでに一ヶ月ぐらい間が空いて きを行うため、自分の作品と出会 経て素焼きや釉薬をつけての本焼 陶芸作品は、 穂高西中 十分な乾燥期間を

### 保健

▽講師

先生 先生 (三郷中) 先生 (三郷小) 小

また、 運動を楽しみ、さらに技能のポイ き、参加者が児童となって様々な 際の体育の授業を再現していただ 年の体つくり運動四十五分間の実 授業方法を伝達していただいた。 で合わせて剣道の型を身につける につながる体ほぐしの運動や集団 を使った楽しい体ほぐしの運動、 ト型のボールゲームやじゃんけん ◇午前中は、 ▼参加者数 三十一名 午後には、 先生による剣道の動き 先生による低学 先生によるネッ

> した講習となった。 (豊科南小

### 技術

▽講師

▼参加者数 八名 (コバヤシ造形堂

を行っていただきました。 ◇今回は、コバヤシ造形堂の 先生にプログラミングの研修

講習会となりました。

(穂高南小

和気藹々と和やかで、

ミングを行い、実生活で使用され ているものに近いプログラムにつ いて考えることができました。 プログラミングロボでのプログラ きました。午後は、アーテックの プログラミングまで教えていただ ング教材コロックルの製作から、 んにも来ていただき、プログラミ 午前は、株式会社トップマンさ

家庭

(三郷中

後ともに実際の授業で使える充実 ントを意識しながら、ノンストッ 午前午 講師の先生方に食材の良さや調理 ら伝わる食の物語を話題にしなが 丸いかの酢の物などこの地に昔か た。赤飯、大平(おおびら)、塩 た郷土料理を教えていただきまし 曇野の地で採れた旬の食材を使っ ▽講師代表 ら調理し、 ◇午前中は郷土食をテーマに、 ·参加者数 三十名 あづみの住宅公園 ム・㈱アルプスピアホーム) 味わいました。元気な (㈱パナホ

安

ん教えていただきました。 郷土料理のいわれなどたくさ

などその家の特徴を知ることがで 問しながら住宅構造を見学をしま きました。 した。今の耐震構造や照明・断熱 午後は住宅公園へ足を運び、 晳

道徳

▽講師 (松本大学基礎教育センター) 田野口弘 十七名

演習をしていただきました。 テーマに、田野口先生より講義・ 先生が再現構成法に基づいて模擬 ていただきました。また、講師 ない評価についての考え方を教え に伴って考えていかなければいけ ◇「楽しい道徳の授業づくり」を 午前の講義では、道徳の教科化

学校でも十分利用できるという発 料として扱われていた題材でも、 ました。これまで小学校の道徳資 を変えたりすることによって、中 発問を工夫したり、価値のとらえ って発問を考え、授業作りを行い かれて「手品師」という資料に沿 授業を行ってくださいました。 午後の演習では、グループに分

> した。 楽しめるように、そして、子ども ました」などの感想をいただきま 杯準備したい。そんな思いになり たちが心待ちにできるように精一

哲学

充実した

▽講師 西村拓生

(奈良女子大学文学部教授)

座が新たにスタートした。 を講師にお迎えして、哲学研修講 田殖先生に代わり、西村拓生先生 ◇昨年度までご指導いただいた川 ·参加者数 五十三名

見方や考え方を知ることができ、 章を考えることで、他の先生方の 文であったが、グループでテキス れた「表現愛」をテキストにして を述べているんじゃないか」と文 トを順番に読み、「こういうこと 読み合わせを行った。大変難解な 今年度は木村素衞先生が執筆さ



大変勉強になった。

西村先生は、私たちの疑問に一つ一つ丁寧に解説をしてくださり、一目が終わる頃には、難解な文を少しずつ自分のものとして考えていくことができるようになった。私たち教師が、子どもの表現をどのようにとらえるべきかを知をどのようにとらえるべきかを知るのを考えていきたいと感じられた研修会となった。

(堀金中

▶ 有數

○講師 百瀬新治 先生

生きていた江戸時代の安曇野農 た。午後は三郷地区 でりんごパスタの会食をしまし 金扇町地区文化財と家並みを見学 で農具や生活用具を見学しまし 隣地講習として、 豊科郷土博物館の展示を見学後、 民」というテーマで講義を受け、 台家」の屋敷を見学させていただ し、昼食は堀金のレストラン美里 非常に密度の濃い実技講習と 「自立し、たくましく 三十三名 穂高久保田地区、堀 穂高郷土資料館 「野沢家」「務

会 報

した。①農具や生活用具から非常しい・苦しい」を払拭するもので百瀬館長の講義は、「百姓=貧

に合理的かつ近代的な生活の様に合理的かつ近代的な生活の様に合理的かつ近代的な生活の様とない。 を事件への備え、⑤厳しい現実を を書件への備え、⑤厳しい現実を を当まれた二百年前のご先祖、こ を営まれた二百年前のご先祖、こ を営まれた二百年前のご先祖、こ で現地に行っての動かざる証拠を に現地に行っての動かざる証拠を に現地に行っての動かざる証拠を に現地に行っての動かざる証拠を に現地に行っての動かざる証拠を に現地に行っての動かざる証拠を

央語

▽講師

テヅカ在籍のALT三名(長野県総合教育センター)

▼参加者数 二十一名 ○外国語の必修化を目前にした今 を加していただきました。午前の 参加していただきました。午前の 一年度は、多くの小学校の先生方に の 先生をお迎えし、小学校英 の 先生をお迎えし、小学校入門期 における指導についてお話しいた における指導についてお話しいた における指導についてだきまし いくつか紹介していただきまし いくつか紹介していただきまし いくつか紹介していただきまし いくつか紹介していただきまし いくっか紹介していただきまし いくっか紹介していただきまし といくつか紹介していただきまし における指導について、中学校の た。小中連携について、中学校の たとも学ぶことの多い時間となり ました。

要性を改めて感じました。

小グループで会話を楽しみなが 名のALTの先生方をお迎えし、 午後の部では出身国の異なる三

(穂高東中

を (豊科北中 )を (豊科北中 )を かりました。ALTの先生方の出支 かりました。ALTの先生方の出支 かりました。ALTの先生方の出支 かりました。ALTの先生方の出支 かりました。ALTの先生方の出支 かりました。ALTの先生方の出支 いりました。ALTの先生方の出する。

学校保健

先 先 生 生

▽講師

(日赤奉仕団安曇野支部)

先生(安曇野市福祉部)

▼参加者数 三十一名 ◇「災害への対応と心の癒やし」 をテーマに、午前中は包装食材を
用いた炊き出し訓練と避難所開設
の机上訓練を行いました。炊き出
しや学校が避難所になったときの
す応をグループごとに考えること

午後は石鹸をダリアに彫刻しまた。初めての体験に難しく感じがさったので、美しいピンクのくださったので、美しいピンクのくださったので、美しいピンクのくださったので、美しいピンクのくださったので、美しいピンクの

きに出

特別支援教育

先 先 生 生

▽講師

(社会福祉協議会職員) ▼参加者数 二十七名 ◇午前中の前半は、社協の方より 障害福祉サービスの概要と就労 についてお話をいただき、基本的 についてお話をいただき、基本的 たができた。また、社協の方の思 とができた。また、社協の方の思 とができた。また、社協の方の思 とができた。また、社協の方の思 とができた。また、社協の方の思

特に担任として毎日一緒に生活す

くと、はじめの印象は消えました。

る子どもたちについては愛おしく

養護学校での勤務でした。中に入

子どもたちと知り合ってい

働く姿を観ることができた。参加実際に利用者さんが生き生きと「ま・めぞん」の見学を行った。しま・めぞん」の見学を行った。と

「『知らない』って

な体格の青年でした。暗闇の中、 ら私の背後で飛び跳ねている大き 引いていたのは、 テージ上のことよりも私の注意を ライトが当たり、先生方が黒子と 暗な体育館に入りました。中では 習をしているから、 校長先生が「体育館で文化祭の練 心を持ったことを覚えています。 いつ飛びかかられるだろうと恐怖 して動かれていました。そんなス いました。子どもたちにスポット い」と一人、暗幕の引かれた真っ た。採用前に打合せで訪れたとき、 私の初 「笠地蔵」の劇の練習が行われて そんな第一印象でスタートした 任は 飯田養護学校でし 奇声を発しなが 見て行きなさ

省させられたこと、今でも私の戒ることで生じる「思い込み」に反相手のことを「知らない」でいじさせてくれました。

さんへの「大好き!」をいつも感きませんでした。お父さん、お母思えました。彼等は決して嘘をつ

(堀金中めになっています。

想が出され、充実した一日になっ かしていきたい。中卒者の進路に みの工夫も知ることができて良か 環境の工夫や工賃アップの取り組 ついて少し展望がもてた」など感 った。支援方法は、教育実践に活 者からは、 「一人一人働きやすい

(明北小



## 情報教育

슾 報

▽講師 室谷 心 (松本大学教授) 先生

先生

(穂高東中)

の言葉を並べて、キャラクターを サイトを紹介していただき、命令 谷先生から「スクラッチ」という の導入ができるよう、松本大学室 ◇午前は「プログラミング学習\_ ▼参加者数 二十三名

動かしながら学びました。

作の仕方と特徴を学びました。 いて、インストラクターから、 を使ったプログラミング学習につ ツの紹介、LEGOとタブレット コンテンツ、教育ソフトコンテン 情報モラルの動画、 午後は、 (堀金小 先生が主となり、 小学校英語の

### 教育相談

▽講師

先生 (POTAKA 穂高)

(言ノ葉放課後等デイサービス紬) 先生(ココササ食堂)

(教育支援センターけやきの家)

支援者の願い 運営概要や

じであり、  $\mathcal{O}$ 共通して、子どもとの信頼関係

(穂高東中

▽講師

他あづみの公園職員の方々

生活・

総合

先生 (豊科じゃんぷ)

などをお聞きした。 子どもたちの様子、 ている施設を訪問し、 ◇安曇野市内の子ども支援を行っ ▼参加者数 三十三名 先生 (教育相談室室長)

教育相談のポイントとまさしく同 働きかけの大切さを語られていて 構築、そして、保護者の方への 学びの多い一日となっ

▼参加者数

おいしいおにぎりを作って、みん さんも興味津々でした。その後は、 きる「ぬかくど」に、参加者の皆 を燃料としてお米を炊くことがで きました。脱穀した後の籾殻だけ る「ぬかくど」を使ってお米を炊 三十名 安曇野に昔から伝

午後は、天蚕の飼育現場を見学 (穂高南小

# 明治時代の小学校教科書はなぜカタカナー?

郷土文化財36

展示品を整理しながら、ふっと疑問が浮かびました。 カタカナで書かれているのだろうか?」 郷土文化財センターの収蔵庫には、たくさんの昔の教科書が保管されています。 「どうして小学校の教科書は

うなことがわかってきました。 いろいろな方にお聞きしたり、ネットで調べてみたりしました。すると、次のよ

①カタカナはもともと平安時代に漢文を訓読するための補助記号として作られ!

②明治十八年に「公文法」という法律でも、公文書は漢字にカタカナ表記と定め られた。 それ以来、学問の場で用いられる文字として認識されていた。

③よって、 学問の場である尋常小学校でも、 先ずはカタカナから覚えるようにな

私が当時のカタカナで書かれている教科書をすらすら読めるかといわれると、

自信がありません。そんな、昔の教科書も見に来ていただければ、うれしいです 、郷土文化財センター運営委員会)



なでいただきました。 ◇午前中は、

しい繭に見とれるひと時でした。 お話を伺いました。黄緑に輝く美 飼育の苦労や加工についての

> 編 集

後

記

実技講習会の様子が

がりました。 参加しようかなと、選択の幅が広 他の講座の内容を知ることがで 参加されている姿が伝わってきま 写真を拝見すると、それぞれの講 掲載されました。その報告内容や になれます。来年は、どの講座に き、自分も参加したような気持ち つですが、この報告を読むことで、 した。毎年、参加できる講座は一 座で先生方が夢中になり楽しんで 本号では、